

こんなところに信楽焼 その3

全国から集結した43地域が6テーマに分かれて魅力を発信!

LOCAL JAPAN展

ローカル
ジャパン

会期 7月28日(月)～31日(木)

場所 EXPOメッセ『WASSE』

詳しくは
こちら

LOCAL JAPAN展とは、地域にあふれる「日本の奥深さ」を五感で楽しみ、味わっていただく体験型イベントです。全国43地域が、6つのテーマ、14の共創コンテンツで地域や文化、世代を超えてコラボレーションします。

甲賀市は新潟県三条市とコラボレーション!

「鉄と土と火と、」

「人と自然、素材と技術から生まれたものづくり」をテーマに展示や実演などを行います。

甲賀市
信楽焼新潟県
三条市
金物加工

「火」が 뜨なく伝統産業の
コラボレーションをお楽しみください

滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場 場長
たかはた ひろあき
アドバイザー 高畑 宏亮 さん

かつて信楽では、火鉢の生産が盛んで三条では石油ストーブの開発・生産されていました。昭和20年代から徐々に暖房器具が火鉢から石油ストーブに取って代わっていくなど信楽と三条には、同じ「火」を扱う産業があり、また産業のバトンが渡された縁があります。このLOCAL JAPAN展では、日本の伝統産業がこれからどんな風になっていくのか、実際にモノや技術を見ながら体験することができます。「火」が 뜨なく伝統産業のコラボレーションを観にぜひ、お越しください。



今回紹介できなかった情報も掲載中!

甲賀市の万博情報は
市ホームページをチェック!!

市ホームページ



甲賀産の木材を使用!

数学・いのち・アートが交錯する作品
角命(かくめい)

この作品は、滋賀県森林組合が材料を支給し、河芳工務店(土山町)が加工したヒノキの木材タイルを使用。作品に近づくと、来場者の動きをとらえて反応し、「有機的ないのちの模様を生み出す数式」から生成された模様と共に、不思議な音を奏でます。



こどもたちの手に触れる作品なので、木の角を一つひとつ手作業でヤスリで削り、オイルコーティングをして手触りにこだわりました!木のあたたかみを、多くの人に感じてもらえると嬉しいです!

私たちが作りました!



おおにし ともこ かわい よしあき
大西 智子さん 河合 芳明さん

いのちの遊び場 クラゲ館

シグネチャーパビリオン いのちを高めるワクワクを探す旅へ!

どんなパビリオンなの?

「いのち」をテーマに、音・光・香り・触感など「五感」で感じる新しい遊びと学び、創造の空間です。アートや音、デジタルテクノロジーや身体を通して「いのちってなんだろう?」「自分ってなんだろう?」と遊びながら問い直す、そんなパビリオンです。

- テーマ: いのちを高める
- プロデューサー: 中島さち子 (音楽家、数学研究者、STEAM 教育家)
- 建築デザイン: 小堀哲夫 (小堀哲夫建築設計事務所)

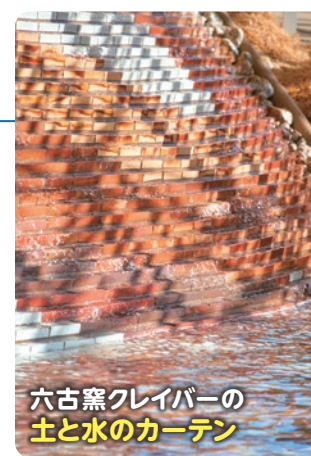
\ 詳しくはこちら /



信楽高校や信楽中学校の生徒たちが制作!

水景空間の
土と水のカーテン

六古窯(信楽焼・越前焼・瀬戸焼・常滑焼・丹波焼・備前焼)それぞれの産地の土が放つ風合いや質感の違いを生かしたクレイバー3,205枚(うち信楽焼726枚)で作成した土と水のカーテンが、来場者をお出迎えしています。



六古窯クレイバーの
土と水のカーテン

クレイバーとは?

良質な「土」と、千年以上にわたり受け継がれてきた技術と経験により作り上げたレンガ状の「やきもの」です。

さまざまな産地のクレイバーがたくさん並ぶ作品なので、形が崩れないようにていねいに作りました。大阪・関西万博をきっかけにたくさんの方に「信楽焼」の素晴らしさや魅力が伝わると嬉しいです!

クレイバー
制作風景の動画は
こちらから



信楽高校 陶芸部 3年
いそだ あきの
磯田 有沙野 さん

制作に携わった
信楽高校
陶芸部のみなさん



陶製の椅子 トン

クラゲ館内の休憩場所として9個設置されています。叩くときれいな音を奏でるので楽器としても展示されています。ぜひ、触れて、叩いて、信楽焼を感じてみてください♪



市内にもトンがあるよ!!

市内各地にも同じ形状のトンが設置されています。

- JR貴生川駅前広場
- まちづくり活動センター「まる一む」
- 陶芸の森 他

私たちが作りました!



祖父が前回の万博に携わっていたと聞いていたので、私も携わることができて嬉しいです!作品の制作は、まち全体のサポートがあつてこそできたもの。多くの方に感謝の気持ちでいっぱいです。

信楽高校 陶芸部 指導
ほら はやと
洞 勇同 さん

Information

トンや土と水のカーテン、
角命は予約不要で見ることができます!